

マラソンで、学びに向かう力、人間性を養う

一人一台端末を使って記録を管理し、自分の目標にどれだけ近づけているかが分かるようにしました。

これまで



どれくらいのペースで走ったら目標に届くのだろうか？

一人一台



もう少しペースを上げないと目標に届かないな。



自己調整につながる

見える分かる

ICT活用のポイント

記録の手間はこれまで体育カードに書いていたよりも速くなりました。

目標と現在の自分の記録を比較したり、記録の伸びを実感したりすることができ、マラソンが好きという児童が増えました。



目標タイムを決めよう			
一周 250m	タイム	70秒	
	距離	時間	
1周目	250m	01分10秒	大会予想記録
2周目	500m	02分20秒	低学年 1250m
3周目	750m	03分30秒	中学年 1500m
4周目	1000m	04分40秒	高学年 2000m
5周目	1250m	05分50秒	
6周目	1500m	07分00秒	
7周目	1750m	08分10秒	
8周目			
			私の目標
			6分50秒

自分のタイムを入力

目標タイムを決める
(例: 中学年)

朝のかけ足の記録を記入

赤い枠は自動で計算される

自分の成長を記録しよう				
	1回目	2回目	3回目	4回目
タイム (3週) 750m	3分55秒	3分50秒	3分46秒	3分45秒
マラソン大会予想タイム	7分50秒	7分40秒	7分32秒	7分30秒


表現運動

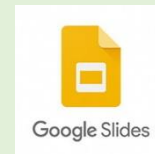
運動の実践では、補助的手段として活用するとともに、効果的なソフトやプログラムの活用を図るなど、活動そのものの低下を招かないよう留意することが大切です。 <小4・表現>

ICT活用のポイント

- ・曲想ごとに、班に担当部分を割り当て。
- ・各班で考えたフォーメーションをノートに書(描)き、それを撮影してから振付を動画で収録。
- ・つくったスライドをみんなで共有し、他の班のアイデアを各自で把握してから体育館で実演しました。



 体育館で演技する様子(動画：30秒)



F班 テーマ 【空をかるやかに飛ぶように】
メンバー: [redacted]
フォーメーション(28人)

A班 テーマ 【希望がみえてきたイメージ】
メンバー: [redacted]
フォーメーション(28人)

D班 テーマ 【虹の歌】
メンバー: [redacted]
フォーメーション(29人)
曲に合わせて進んでください
舞台の方を見て進んでください

C班 テーマ 【楽しく、ワクワクするダンス】
メンバー: [redacted]
振り付け: [redacted]
覚えてね

B班 テーマ 【空を飛んでいるようなイメージ】
メンバー: [redacted]
振り付け: [redacted]
覚えてね!

E班 テーマ 【冬の夜空を飛ぶようなダンス】
メンバー: [redacted]
振り付け: [redacted]
覚えてね!

カメラ機能を活用して、自分を客観的にみる

自分が縄跳びを跳ぶ様子を、鏡的に利用して見ることができます。また、録画をして、スローやコマ送り再生をすることで改善点やポイントを話し合い、対話的な学びを行うこともできます。加えて、自分の成長を振り返る資料にもなります。

<第4学年 縄跳び>

ICT活用のポイント

普段の学習でカメラの機能を活用しておくことで、操作技能の獲得に向けた指導をする必要がなくなります。児童も教師も、普段の活用の延長で気軽に実践ができます。



授業風景（動画：約40秒）

成果を共有し、意欲付けをする

スプレッドシートに自分の成果を記録し、データを共有するとともに、グラフ化をすることで、自分の成長を実感するとともに、クラスの友達とともに成長していこうという目標を持つことができます。また、上級生のお手本動画を共有するなどして、学年を超えた交流をすることもできます。

<第4学年 縄跳び>

ICT活用のポイント

データをクラウド上で操作することにより、複数の児童が同時に作業ができます。合計や平均といった簡単な関数で集計をし、グラフ化することで、児童のやる気も向上します。

